



タイトル

『平成29年度 つくば市民意識調査』の結果を公表します。

項目(あてはまるものすべてにチェック)

- | | |
|--|--|
| <input type="checkbox"/> イベント・会議等の事前周知依頼 | <input type="checkbox"/> イベント・会議等の取材依頼 |
| <input checked="" type="checkbox"/> イベント会議以外の事業の周知依頼 | <input type="checkbox"/> 参加者募集の告知依頼 |
| <input type="checkbox"/> その他 |) |

全1枚(本紙含む)

<概要>

市民意識調査は、市民の方が感じているつくば市の現状や課題、まちづくりの満足度を把握し、今後の市政運営の参考とするために2年に1度、実施しています(今回は平成27年度)。

今回は、平成29年8月に実施し、まちづくり施策、住環境、少子高齢化等市の各種施策への満足度や調査対象者の現在の生活環境・市政へのご意見等を調査する全35問の質問に回答をいただきました。

調査結果は、市民ニーズに即した施策の展開と各分野の満足度の向上に活用いたします。

※記者会室内の各社ボックスには、添付資料として『調査結果報告書 概要版』も投函しました。

●調査の概要

調査期間：平成29年8月8日～21日

調査期間：18歳以上で市内在住の方3,000人

抽出方法：住民基本台帳からの無作為抽出

調査方法：郵送による配布・回収(希望者はweb回答可)

発送数：3,000通

回収数：1,347通

回収率：44.9%

●主な調査結果

- ・「住み続けたい」「住みやすい」がともに8割を超え、前回調査より共に増加。
- ・「市政に市民が参加できる環境が整っているか」「市政に市民の声が活かされているか」は共に「あまりそう思わない」が最も多い。
- ・「つくば駅周辺の活性化のために必要な取組」では、「商業施設の誘致」が28.7%と最も多く、前回調査から大きく増加し、逆に「特に必要ない(今のままで十分)」は大きく減少。

●結果の公開方法

広報つくば12月号(概要のみ)、市ホームページ、情報コーナー(市役所1階)、各窓口センター、各地域交流センター、中央図書館にて公表しています(11月28日から各窓口等に報告書を設置)。